

「発車メロディー」及び「情報案内ディスプレイ」を 全駅に導入します

泉北高速鉄道株式会社（社長：金森 哲朗）では、お客さまにより快適に当社線をご利用いただくとともに、愛着を持っていただくことを目的として、「発車メロディー」及び「情報案内ディスプレイ」を全駅に導入します。

同設備の導入は、駅トイレや制服のリニューアル、クレジットカード決済による定期券の発売開始などに続く取組みであり、引き続き様々な施策を実施していくことで当社線の魅力向上を図ってまいります。

《「発車メロディー」について》

すべての発車メロディーを、フュージョンバンド「カシオペア」の元メンバーで、数多くの鉄道関係の音楽を手掛けている向谷 実（むかいやみのる）氏に制作いただきました。各駅をイメージしたオリジナル楽曲で、さらに上りと下りで異なるメロディーを用意することで、お客さまに列車の発車時機を分かりやすくお知らせします（和泉中央駅、光明池駅は既存メロディーを変更します）。

《「情報案内ディスプレイ」について》

各駅改札口付近に設置し、通常時は当社のサービス情報やマナー啓発のほか、列車在線位置などを表示します。また、異常時には遅延情報や振替輸送情報などを表示するほか、大きな列車遅延が生じた場合は自動音声による案内を行うことで、お客さまに効率的で速やかに運行情報をお知らせします。



情報案内ディスプレイイメージ

（画像左：正常時の列車在線位置情報画面、画像右：ダイヤ乱れ時の状況及び振替輸送案内）

1. 「発車メロディー」について

- (1) 導入開始日 2022年3月26日(土) 初列車より
- (2) 導入箇所 泉北線各駅(中百舌鳥駅2番線は2022年4月以降導入予定)
- (3) 各メロディーコンセプト
 - ①上りの発車メロディー
3拍子で朝の通勤時間帯や大阪方面への移動を軽やかに感じていただけるメロディーにしました。一駅一駅がつながっていくように制作しています。
 - ②下りの発車メロディー
都会的な雰囲気メロディーで、上りと同様、一駅一駅がつながっていくように制作しています。さらに光明池駅は、次が終点であることをイメージしています。
 - ③中百舌鳥駅(2番線のみ)
さあいざ、泉北高速鉄道へ!という気持ちを込めています。

【向谷 実氏のプロフィール】

日本を代表するフュージョンバンド「カシオペア」の元キーボーディスト。株式会社音楽館代表取締役を務め、博物館、運転士訓練用のシミュレータの制作などを手がけられているほか、JRや大手私鉄の発車メロディーなども数多く制作されています。

➤ 音楽館ホームページ : <https://www.ongakukan.co.jp>



2. 「情報案内ディスプレイ」について

- (1) 使用開始日 2022年3月24日(木) 初列車より
- (2) 設置箇所 泉北線各駅(中百舌鳥駅は除く) ※ ディスプレイサイズ55インチ
- (3) 表示内容
 - ①通常時はリアルタイムで走行位置が分かる「列車在線位置情報」や「おとくなサービス情報」、「マナー啓発」などを配信します。
 - ②ダイヤ乱れや運転見合わせなどの列車遅延が発生した場合は「原因」や「発生場所」、「振替輸送情報」などを配信します。※ 一部、英語でも表示します。
- (4) その他
当社線で影響が大きい列車遅延が発生した場合は、自動音声による案内も行います。

以上